

HTMLによるデザインとその限界

デザインの基本

近代の商業デザインはパウハウスが設立された1919年より始まったと言えるでしょう。designという言葉には、意匠、設計、計画、構造的仕組みという意味が含まれています。紙媒体を基本とするグラフィックデザイン(商業デザイン)は情報を整理し、より理解しやすく心地良いものとしてユーザーに提供することを目的としています。

WEBページデザインは各種のデバイスに情報を表示することを目的とする以上、旧来のグラフィックデザインが目指しているものとの間に大きな違いはありません。しかし、WEBページはCRTディスプレイの特性を始め、リンクや動画、音声などあらゆる情報の掲示が可能であり、印刷物におけるデザインで蓄えられてきたノウハウがそのまま利用できない場面にもよく出会います。WEBは既存のメディアを含んだ新しいメディアなのです。

HTMLとは

HTMLとはHyper Text(ハイパーテキスト)Markup(マークアップ)Languageの略です。

HTML

Hyper Text(ハイパーテキスト)

他のページなどの情報にリンクしているテキスト(ホットテキスト)をいう。WEBページ上のハイパーテキストは他のテキスト、グラフィックス、音声、映像、ソフトウェアなどにリンクしている。リンクテキスト(ホットテキスト)をクリックすることによって、リンク先の情報に移動(表示)することができる。

+

Markup(マークアップ)

情報をブラウザで装飾、表示するためにテキスト間に命令(タグ)を挿入すること。WEBページはHTMLタグによりマークアップされた情報が適切にブラウザに表示される。

少し詳しく

HTMLとはSGMLのDTDのひとつです。

SGML(Standard Generalized Markup Language)は文章の論理的な意味付けをタグを使って記述方式を定めたものです。SGMLで使用されるタグの種類を定めたものをDTD(Document Type Definition)と言います。

HTMLの限界

HTMLは本来文章の論理構造を記述するものです。しかしインターネットの普及とともにHTMLによるレイアウトの制御が行われ、またブラウザによって独自に拡張された結果、論理構造を記述するといった目的から外れはじめました。

URL

<http://www.yahoo.co.jp/>

その結果

現在多くのWEBページは自由にレイアウトされた結果、論理的構造を持たないものとなつてしまっています。今やインターネットは巨大な情報ゴミ箱となってしまったのです。